

ロシアによるウクライナ侵攻の即時停止を求めるメッセージ ～ 私たちに何ができるかを考えよう ～

長野県長寿社会開発センターは、「誰もがその人らしく生き抜く長寿社会の実現」を理念としています。長野県に暮らす私たちには戦争に巻き込まれた悲惨な経験や他国を蹂躪した苦い歴史があります。いかなる戦争でも第一の犠牲者は一般の国民です。どんな理由があれ武力による紛争を許すことはできません。

この度のロシアのウクライナ侵攻に対し、人権と自由を基調とする国際平和を希求する立場から、私たちに何ができるかを、ともに考えたいと思います。

2022年2月24日、ロシア政府は圧倒的な武力によるウクライナへの軍事侵攻を開始しました。この間の攻撃によって、多くの避難民が出るとともに、子ども・障がい者・高齢者を含むウクライナの人びとの平穏な生活が破壊されました。

私たちはウクライナ国民の人権と生命を無視する今回の侵攻を断じて許すことができません。ロシア及びウクライナ両国政府は戦闘を直ちに停止し、対話を通じて平和的解決を図るよう強く要望します。また、軍事侵攻に反対するウクライナ国民、ロシア国民、さらには世界の人々とともに一日も早い和平の実現を切望します。

令和4年3月31日

公益財団法人 長野県長寿社会開発センター
理事長 内山 二郎